

## 会議録

会議の名称	第12回 西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会
開催日時	平成26年1月17日（金曜日） 午前9時05分から11時05分まで
開催場所	防災センター講座室2
出席者	委員：伊藤会長、貫井副会長、石黒委員、長谷川委員、村田委員、本橋委員、町田委員、黒岩委員、山田委員、高井委員、柴田委員（阿部係長代理出席） 事務局：萱野課長、矢澤主幹、五十嵐課長補佐、師岡主事
議題	1 開会 2 議題 （1）平成25年度都市と農業が共生するまちづくり事業の進捗状況について （2）（仮称）都市農業フォーラムについて （3）次回推進委員会（最終回）について （4）今後の予定について 3 その他
会議資料の名称	資料1 第12回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会会議 資料2 （仮称）平成25年度都市農業フォーラム（案） 資料3 （仮称）第2次西東京市農業振興計画（素案） 参考資料 第11回都市と農業が共生するまちづくり推進委員会会議録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長： 開会前に事務局より発言を求められています。</p> <p>事務局： 本日議題（1）の中でイメージビデオの試写を行う。イメージビデオ制作の委託業者である（株）ライズビデオエイティを本日の推進委員会に同席させていただきたく、お願いいたします。</p> <p>会長： 同席させることに異議がありますか。</p> <p>○委員一同： 異議なし。</p>	

○会長：  
異議がないので、同席を認める。

## 1 開会

○会長：  
定足数に達しているので、ただ今より、第12回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会を開催する。  
傍聴者の確認を行いたい。

○事務局：  
傍聴者1名。

○会長：  
異議がないようであれば、傍聴を許可したいと思うが、いかがか。

○委員一同：  
異議なし。

会長：  
それでは傍聴者の入場を認める。  
(傍聴者入場)

○事務局：  
本日の配布資料の確認。  
資料1 第12回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会会議資料  
資料2 (仮称)平成25年度都市農業フォーラム(案)  
資料3 (仮称)第2次西東京市農業振興計画(素案)  
参考資料 第11回都市と農業が共生するまちづくり推進委員会会議録  
なお、前回会議録は、各委員へ郵送にて配布し、内容の了承をいただいております、既に情報公開コーナーで公開手続を行っている。

## 2 議題

### 議題(1) 平成25年度都市と農業が共生するまちづくり事業の進捗状況について

○事務局：  
資料1の説明。

(イメージビデオの試写)

イメージビデオは、仮編集段階なので、本日委員の皆様からいただいた意見も参考に、今後完成に向けた編集を行っていく予定である。

(イメージソング(楽曲の案1、楽曲の案2)の視聴)

イメージソングは、本日1月17日(金曜日)～31日(金曜日)までの間、市ホームページで市民意見の聴取を行う。イメージソングの最終的な歌詞は、この市民意見の聴取や

本日の推進委員会での皆さんからの意見を参考にして、今後修正を加え完成させる。また、楽曲は、2つの案から人気投票の形で決めていきたい。

○会長：

事務局からの説明についてご意見、ご質問があればお願いしたい。  
イメージビデオとイメージソングについては、まだ制作段階で完成形ではないので、可能な限り皆さんの意見も参考にして制作を進めてもらうことになる。

委員：

イメージビデオの中で、野菜ソムリエの方と農家の奥さんたちがキャベツを活用した料理を紹介していたが、でき上がった料理を試食しているシーンだけではなく、調理の過程を紹介した方が視聴者の注意を引きやすいのではないか。「キャベツの浅漬け」や「キャベツと卵の炒め物」を紹介していたが、短時間でも調理の様子を見せる方がビデオの内容としてより充実したものになるのではないか。特に主婦は、料理方法に興味を持つと思う。

事務局：

このコーナーとしては市内産の農産物（キャベツ）を「食べる」ということの紹介するコーナーなので、委員からの意見はビデオ全体の中で反映が可能であれば取り入れたいと思う。

委員：

例えばファームカーで映像を流す際に、調理の様子もある方が良いように感じた。

○副会長：

今の試写した映像は、全部で何分程度の長さで、完成版はどのくらいの長さの映像になるのか。かなり長く感じた。

事務局：

本日試写した映像は、24～25分程度である。まだ撮影の終わっていないスタジオ撮影分を付け加えて編集し、またインタビューの部分も編集をするので、最終的には20分程度の長さを予定している。

委員：

イメージビデオの中ではキャベツを活用した料理を主体としたものになっていたが、春から夏にかけては、春夏野菜のバージョンを制作して、それを入れ替えて流してはどうか。春夏野菜ならば彩り鮮やかなサラダ野菜なども色々あって見栄えも良いと思う。そのようなことは可能かどうか教えてほしい。

事務局：

残念ながら映像の入れ替えは難しい。キャベツを料理して紹介した経緯については、西東京市で一番作付面積の大きい野菜がキャベツなので、キャベツ料理を紹介することになった。しかし、イメージビデオ全体の中でキャベツ以外の野菜も紹介して偏らない

ようにしていくので、ご理解していただければと思う。

○会長：

西東京市の農業は野菜、果樹、花卉、植木で構成されており、まちづくり事業のテーマにもなっている。イメージビデオの前半部分で、「花摘みの丘」での景観散策会を紹介等しているが、個別の事業を紹介しつつ、西東京市の農業の魅力を紹介する必要がある。既存の映像を活用して、実施している各事業の紹介をしつつ、西東京市の農の魅力を紹介するような工夫ができるのではないかと。

事務局：

ナレーションについては、調整が可能であるので、いただいたご意見を参考に制作していきたいと思う。今後スタジオで撮影する映像については、西東京市の農業について、数値情報等を用いて紹介する内容なので、ご指摘の点については表現ができると思う。

会長

本日の映像の中で使用していたナレーションのできはなかなか良かったと思うが、あれは仮のものということか。

事務局：

本日の映像では、男性の声による仮のナレーションである。完成版は、女性のナレーションになる。

副会長：

イメージソングは視聴した感じでは、全く異なる曲調であったと思う。イメージソングの市民意見聴取を行うということだが、最終決定はどのように行うのか。また、市のホームページをどれだけの人が閲覧するのか。時間の制約がある中で難しいことかもしれないが、農業を応援することが目的であると思うので、農業者の意見も取り入れる機会があればありがたいと思う。

事務局：

イメージソングについては、市民の意見を広く取り入れたいという考えから、市ホームページでの意見聴取を実施することにした。農業者の方の意見ももちろん伺いたいと思っているので、農業者の方にも何らかの形で意見聴取についての情報提供を行い、市ホームページにアクセスしていただいて、意見を述べてもらいたいと思う。

委員：

全く曲調が違うものなので、どちらか一つを選択するというのも難しいように思う。好みの問題もあると思うので、意見は真っ二つに分かれるのではないかと。可能であれば、2曲ともイメージソングとして制作し、イベント等の状況に合わせて使い分けるといった選択肢はないのか。

事務局：

残念ながら、イメージソング制作会社との契約の中で1曲のみの制作となっており、2

曲を使い分けることはできない。

会長：

イメージソングの選定については、事務局が最終決定を行うということか。

事務局：

市の意思決定という手続きにより進める。

委員：

この2曲の歌詞と楽曲は、どこでどのように制作されたのか経緯を知りたい。

事務局：

イメージソングは作詞・作曲を合せて委託している。本事業を進めていく中で、農業者の方々や事業に参加する市民の方々から聞くことができた声を事務局の方で「キーワード」として抽出した。このキーワードは、事業をとおして市民の皆さんが感じたイメージであり、このキーワードを委託事業者へ伝えてこの2通りの歌詞ができ上がった。

楽曲については、イメージソングという視点の中で農業者の方へは応援になるもの、市民の方へは農業に興味を持ってもらえるものという考え方で、事務局と委託事業者とで検討を重ねて制作に至った。

会長：

歌詞の案1では「西東京市」というフレーズが3回、歌詞の案2では「西東京市」というフレーズが一度も出てこない。委託事業者へ発注するにあたり、「めぐみちゃん」という言葉がクローズアップされるように両案ともなっているかと思う。発注の際に、どのように指示をしたのか。

事務局：

委託事業者は、イメージソングの実績がある会社で、発注の際に「イメージソングには、具体的な名称を盛り込むことが大切だ」というアドバイスをもらった。「農業」や「野菜」というキーワードでは西東京市の農業を普及啓発する上でインパクトが薄く、皆さんの耳に残りづらいということだったので、具体的なキーワードとして、西東京市の農産物キャラクターである「めぐみちゃん」をキーワードとして選択した。「西東京市」というフレーズに関しては、事務局からはリクエストしていない。曲全体のバランスということで歌詞の案1では取り入れて、歌詞の案2では取り入れていない。

会長：

歌詞として「西東京市」という言葉が入るべきなのかということ議論するべきではないか。ぜひ農業者である委員の方から、農業者の目線での意見をいただきたい。

委員：

個人的な感想になるが歌詞の案1の方が軽快な印象があって良いと思った。歌詞の案2は落ち着いたイメージだと思う。農業者のための曲であることも大事だが、子どもたちが覚えやすい歌詞やメロディーの曲の方が、親しみが持ちやすいのではないか。

時間的に難しいかもしれないが市民まつり等の市のイベントでこの2つの曲を流して意見を聴取する方法が良いのではないか。

今後このイメージソングは市内の様々なイベントで流すような活用をすると思うので、親子で聞いて楽しめるような楽曲が好ましいと思う。

委員：

私は、個人的には歌詞の案2の曲の方が、メロディーが印象深くて気に入った。歌詞の案1は現実的で何とも言えない。歌詞の案2は抽象的で、どちらも一長一短といった感じで、選択をするのは難しい。

会長：

歌詞の内容については、表現を変えるというような変更も可能なのか。市民意見聴取では、楽曲の選択肢はあるが、歌詞は内容について意見を述べられるということか。

事務局：

市民意見聴取では、楽曲の二者択一と歌詞に関しての自由意見をいただくことになっており、いただいた意見を参考にして事務局で最終決定をするということになる。

委員：

歌詞の案2の「畑で農家の人を見かけたら気軽に話しかけてごらん」をいうフレーズについては、農家がみんなこのような状況を歓迎するかは分からない。農家の方は畑で仕事をしているので、毎回手を止めて道行く人の相手をしてもらえないと思う。

委員：

私は、畑で作業をしているときに、通行中の人に声をかけられるのは大歓迎で、よく子どもたちが下校中などに話しかけてきてくれる。畑のことなどを子どもたちに話したりして話し相手をするのを楽しんでいる。

副会長：

歌詞の案1はアップテンポな曲で応援歌のようなイメージがあるが、「西東京市」というフレーズが入った方が良いのか分からない。歌詞の案2はとても曲調が落ち着いたので、応援という意味では歌詞の案1の方が適当なように思う。いずれにせよ、この2曲はコンセプトが全く違うので、どちらかを選択することは難しい。

会長：

どちらの曲も「めぐみちゃん」をPRする内容になっている。また、歌詞の中に「西東京市」という言葉が入るべきかどうかについては、歌詞の案2では「緑豊かなこの街」や「畑」などの農業に関する表現が比較的抽象的である。歌詞の案1については、1番に野菜、2番で果樹、3番で花と苗木が取り上げられており、今まで本事業で掲げてきた西東京市の農業の特徴が反映されていると思う。

イメージソングについて他に意見がないようであれば、次に進めたい。

会長：

資料1のめぐみちゃんメニューの開発、農業普及啓発プロジェクトについて何か意見

があればお願いしたい。

委員：

「めぐみちゃんメニューの開発」の説明会に参加をさせてもらい、農家と商工業者の方々のマッチングなどを拝見した。私が援農ボランティアとしてお手伝いに行っている農家さんのところへも、めぐみちゃんメニュー事業で知り合った飲食店の方が見学に訪れたりして、新しいメニューについて農業者サイドと飲食店サイドで活発に意見交換をしたりしている。事業が始まるまでは交流する機会が無かったが、今はとても良い雰囲気交流している。

○会長：

めぐみちゃんメニューの開発では、めぐみちゃんメニューを介して消費者と飲食店との距離を縮めるということが目的としてあったと思う。また、商工業者と農業者をつなぐことが大きな目的として事業を進めていたと思う。

平成25年度は、市民へ向けてのイベントとして「めぐみちゃんメニュー食べ歩きキャンペーン」を実施し、商工業者と市民の間をつなぐことができたと思う。来年度は、農業者と市民がつながる事業展開を企画しているとのことなので、とても期待している。

委員：

ファームカーの整備状況について事務局より説明があったが、ファームカーのボディの装飾はどのようになるのか。「めぐみちゃんマーク」や「事業名」などは車体に表示するのか。

事務局：

「めぐみちゃんマーク」については、デザインの一部として取り入れることになっている。車体は「緑」をボディカラーとして、めぐみちゃんを主体としたデザインを施していく。今後カッティングシートを用いて車体に「西東京市」や「市のマーク」なども車体左右側面、正面、背面に貼り付けてデザインをしていきたいと思う。

会長：

「ファームカー活用事業の予定（案）」について、何か意見があればうかがいたい。

委員：

再度の確認になるかもしれないが、ファームカーの維持管理や運転は誰が行い、保管場所はどこになるのか。

○事務局：

ファームカーの保管場所は保谷庁舎で、運用は市が行うため、運転は市職員が行う。

会長：

それでは議題の（1）平成25年度都市と農業が共生するまちづくり事業の進捗状況については、了承するという事で良いか。

委員一同：

了承。

**議題（2）（仮称）都市農業フォーラムについて、議題（3）次回推進委員会（最終回）について**

会長：

続いて、議題（2）（仮称）都市農業フォーラムについて、議題（3）次回推進委員会（最終回）について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：

（資料2（仮称）平成25年度都市農業フォーラム（案）、次回推進委員会（最終回）について説明）

○会長：

事務局から説明のあったように、推進委員会の最終回を（仮称）都市農業フォーラムの開催日と同日の3月15日（土）の午前11時から1時間程度ということでした承いただけるか。

○委員一同：

了承。

**議題（4）今後の予定について**

会長：

今後の予定について事務局より説明をお願いしたい。

事務局：

会長からも話があったように、実質的な審議は本日が最後になるかと思う。協議会を含めると5年間、委員の皆さんには事業を支えていただき、ようやくここまでたどり着くことができた。この場をお借りして御礼申し上げます。今後も、これからの西東京市の農業振興のために、大きな柱として本事業を展開していく予定である。

資料3（仮称）第2次西東京市農業振興計画（素案）を配布しているが、今後10年間の計画で、本事業の展開を組み入れ、引き継いでいくものとしている。

（資料3（仮称）第2次西東京市農業振興計画（素案）について説明。）

会長：

（仮称）第2次西東京市農業振興計画（素案）には、まちづくり事業の内容が盛り込まれており、今後農業振興計画推進委員会の方で各事業の進行管理をしていくということである。何か意見があればお願いしたい。

委員：

まちづくり事業とは直接関係ないかもしれないが、東京都で実施している「精神障害者社会適応訓練事業」において農家が協力できないかという話があった。精神障害者の方々の社会復帰の場として農業が役立つことはとても良いことだと思う。まちづくり事業の中で様々な事業を展開したが、今後高齢者や障害者の受け皿として農業が活躍していければ良いと思う。



事務局：

農業は多面的機能を持ち備えているため、障害者の方に係らず、高齢者や子どもたち等の幅広い方々を受け入れることができると思われる。もし具体的な話があるようだったら、障害者の方に関しては障害福祉課が窓口となりお手伝いできることがあると思うので、声をかけていただければと思う。

○副会長：

「都市と農業が共生するまちづくり事業」は6区市が実施しているが、西東京市としての成果を発信できるような方法を来年度検討してもらえればと思う。

○事務局：

今年度の事業の中で、西東京市の事業の成果を取りまとめた「事業報告書」を現在作成中である。次回委員会で皆さんへ配布したいと思う。

委員：

「都市と農業が共生するまちづくり事業」は、来年度をもって6区市の全事業が完了する。東京都では事業評価を行い、同じ事業を組み立てることは難しいが、「まちづくり」として必要だというようなものが事業評価の中で出てくれば、それぞれに合った予算化をして広めていきたいという考えである。

○会長：

東京都としては、今後まちづくり事業を継続的に行う可能性もあるのか。

委員：

同じ組み立てで事業を行うことはできないが、評価をしていく中でどのようなものが考えられるのかを積み上げていくということになる。

○会長：

6区市以外の他の自治体でも行わず、来年度を持ってまちづくり事業が終了ということか。

委員：

まちづくり事業は終了である。

○委員：

5年前に西東京市のまちづくり事業がスタートして、ここまできたが、皆さんの尽力もありとても良くまとまったと思う。事業の補助自体は今年度で終了してしまうことで、ランニングコストの関係で、今後事業が回らなくなってしまうようなことが起こる可能性があるのではないかと心配している。例えばJAの中にも緑化組合や農友会などの団体が色々あり、そういった団体へ補助金を出して、運営に携わってもらえるなどではないか。

○事務局：

今後、各事業を継続実施するために市が各事業へ予算を出すことになる。市の最上位計画である総合計画にも本事業を位置付けているので、予算化する際には最優先されることになる。

○委員：

まちづくり事業を進めるに当り、事務局は大変良くやったと思う。

○委員：

事務局は本事業を推進するために、非常によく頑張っていたと思う。特に秋は毎週のように農に関連するイベントが開催され、職員の皆さんも休日返上で色々取り組んでいた。感謝している。

○会長：

先ほど事務局より説明があったように、次年度以降の事業展開については、第2次農業振興計画でまちづくり事業の各事業の進行管理を委ねるということになる。事務局のかかわりはどうなるのか。

○事務局：

農業振興計画については、事務局として産業振興課が所管していく。進行管理をするにあたっては、農業振興計画推進委員や各農業団体の意見をいただきながら、進めていきたいと思う。

本推進委員会で仕上げまで到達できなかった「めぐみちゃんマーケットの開催」については、第2次農業振興計画でしっかり受け継いで進行管理を行っていく。

○会長：

それでは、各事業については、第2次農業振興計画に委ねるということで、皆さん了承いただけるか。

○委員一同：

了承

### 3 その他

○会長：

その他何かある方は発言をお願いします。

○事務局：

繰り返しになるが、次回の推進委員会（最終回）は3月15日（土）午前11時から、フォーラムは同日午後1時から3時30分までを予定。本日の会議録は作成後、委員の皆様へ郵送にて配布し、3月15日の推進委員会の際に承認をしていただきたい。

○会長：

以上をもって、第12回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会を終了する。

閉会